

『1年間を振り返って』

教頭 渡邊達也

平成28年度が終わろうとしています。

4月に179人でスタートしたヤンゴン日本人学校。3月15日現在、195人になりました。200人の大台まであとわずかです。ここ数年間は毎年30人前後子どもの数が増えてきていましたが、今年度は16人の増加でした。増加の勢いが、ちょっと一息ついた感があります。来年度は、どんな様子になるのか気になるところです。

本校は日本人学校であるため、日本の地域の学校に比べ転出入生の数かなり多いです。そして、在籍しているほとんどの子どもたちが転校生です。私も父親が転勤族だったため、子どもの頃に転校を経験しました。転校というのは本当につらいものです。それまで築き上げてきた子どもなりの人間関係が、ゼロになってしまいます。友だちもいないし、先生も誰も知らないし、お店も全然わからないし、町の地理もわからないし、遊び場も違うし…。転校先の学校に登校する初日は、脇腹が痛かった記憶があります。それが海外日本人学校への転校となると言葉のハンディーも加わり、子どもたちのストレスも半端なものではないと思います。でも、ここでは心配はいりませんでした。ヤンゴン日本人学校の子どもたちは、皆とても転校生に優しいのです。小さい子から中学生まで、皆同じです。新しい仲間をすんなり受け入れ、自然に接しています。それは、皆一人ひとりが転校を経験しているからだと思います。転校生に対して優しくできるヤンゴン日本人学校の子どもたち、それは本校の子どもたちのたくさんの素晴らしさの一つだと思います。

今日も校舎のあちこちから、子どもたちの元気な声が聞こえてきます。日本と比べればかなり不自由な環境です。でも子どもたちは、互いに工夫しあって協力しながら、毎日生活しています。出会いと別れをたくさん経験しながら、このヤンゴンの地で子どもたちは一步一步成長し続けています。これからも優しく・たくましく・そして明るく成長してほしいと願っています。

来年度ヤンゴン日本人学校には、どんな新しい子どもたちがやってくるのでしょうか。そして200数十人の子どもたちは、平成29年度のヤンゴン日本人学校の新しいページにどんな素敵なストーリーを綴っていくのでしょうか。とても楽しみです。そして、毎日そんな素晴らしい子どもたちの姿を、そばで見守ることができることに、教師として大人として、そして日本人として喜びを感じます。

保護者の皆様にはこの1年間ヤンゴン日本人学校へのご理解、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。来年度も子ども達のことを第一に考え、より充実した教育活動をしていきたいと思っています。来年度も皆様のご支援、ご協力をよろしく願いいたします。

<主な学校行事等予定>

3/16日(木) 卒業式 卒園式

3/17日(金) 修了式 離任式

4/24日(月) 入学事前説明会

4/25日(火) 始業式・入学式

※当日の下校時刻 4月よりスクールバスとそれ以外のお迎えの方と時差下校をします。スクールバス 11:15・自家用車 11:05です。自家用車の方は少し早目においでくださるようお願いいたします。

<先月の学校運営委員会報告>

2月22日 9:30~11:00 校長室

議事・報告

① 学校状況報告(保護者アンケート、年間予定等)

② 1月の会計報告 H29 会計予算

3月6日 8:30~9:50 校長室

① 学校安全評価について ② 2月会計報告 H28 学校会計決算報告 ③ 学校施設利用規定について等

卒業を迎えるみなさんへ

小学部6年担任 廣川 雅也

3月16日、いよいよ卒業式を迎えます。今、振り返ってみますと、楽しく、そして充実した日々が思い出されます。4月の学級開きの後、みなさんの意見を聞きながら、学級目標を決めました。発表するときの、真剣な眼差しを今でも覚えています。「みんなで、いいクラスにしたい!」という思いが伝わり、全員の思いが入った学級目標が出来上がりました。1年間、この目標がクラスの柱となりました。

みなさんが大成長を果たしたのは、2学期のチルドレンズフェスティバルでした。今年は学年毎の発表となり、しかも6年生はメッセージボード作りの大役を任されました。「今年一番の発表にしよう!」という目標を掲げ、メッセージボードも作り上げる、という大きな二つの目標にチャレンジしました。練習と準備に明け暮れる毎日。時には、行き詰まったり、目標を見失ってしまうこともありましたが、その度に厳しく振り返り、全力で頑張りましたね。その結果、劇は大成功、会場の皆さんを楽しませ、一体感と充実感を味わいました。「頑張る」ということと「一つになる」ということをチルフェスで学んだみなさんは、その力を生かして宿泊体験学習や、運動会といった大行事も大成功へとつなげていきました。そして、その中で互いに心をつないでいきました。

この1年間で皆さんが育てた「チームワーク」が今年の卒業式の6年生のテーマでもあります。その底にある「互いを思いやる心」を、これからも大切にしていってほしいと思います。その心は、きっと世界をよりよく変えていく原動力となるはずです。

『万里一空』

中学部3年 担任 武石 涼

人間の成長は、1日の単位では気がつかないような小さな成長が積み重なって、いつの日か自分らしい花が咲いたり、実がなったりするのだと思います。そして若い小・中学生なら、そのスピードやエネルギーは大人を遙かに上回るものです。また、植物と異なり心が身体をコントロールする人間の場合は、「成長したい」という意志が強ければ強いほど、成長する力はより強まるものだと改めて実感した1年間でした。

中学部3年生の4人は、学校生活でも勉強の面でも他人への悪口や不平不満、やらない理由、失敗したときの言い訳、それらを一切言わずに、継続的に黙々と今やるべきことへの努力を惜しまず、次への前向きな行動、発言を行うことで、大きなパワーと自信を身につけてきました。そして、そのような姿勢がヤングン日本人学校の関係者から大きな信頼を得ることに繋がってきたのだと思います。

最後に、「進路先が内定する」「卒業の日を迎える」など、節目を迎える時期ですが、1人ひとりが思い描く未来の姿を考えると、まだ、あまりにも手前の通過点を歩いているに過ぎないことに気づきます。1つ1つの節目を大切にしながらも、「成長したい」という意志を決して弱めることなく、今日よりさらに進んだ姿で卒業の日を迎えてほしいと思います。